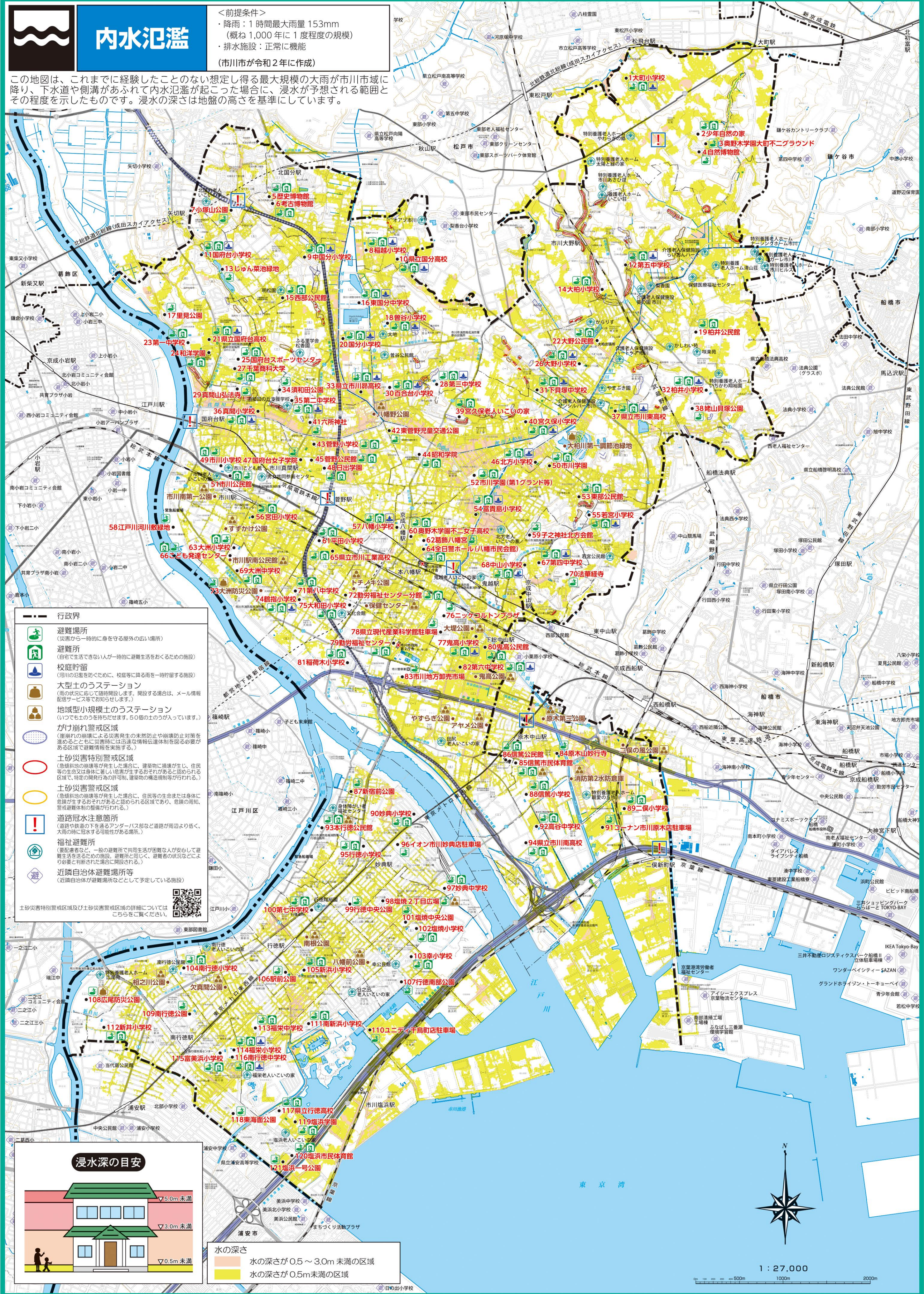
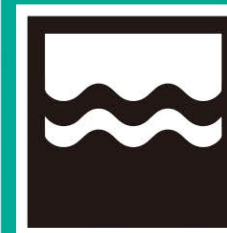






内水氾濫

<前提条件>

- ・降雨：1時間最大雨量 153mm
(概ね 1,000 年に 1 度程度の規模)
- ・排水施設：正常に機能

(市川市が令和 2 年に作成)

この地図は、これまでに経験したことの無い想定し得る最大規模の大雨が市川市域に降り、下水道や側溝があふれて内水氾濫が起こった場合に、浸水が予想される範囲とその程度を示したものです。浸水の深さは地盤の高さを基準にしています。

行政界

避難場所
(災害から一時的に身を守る屋外の広い場所)

避難所
(自宅で生活できない人が一時的に避難生活をおくるための施設)

校庭貯留
(河川の氾濫を防ぐために、校庭等に降雨を一時的に貯留する施設)

大型土のうステーション
(雨の状況に応じて随時開設します。開設の場合は、メール情報配信サービス等でお知らせします。)

地域型小規模土のうステーション
(いつでも土のうを持ちだせます。50個の土のうが入っています。)

がけ崩れ警戒区域
(崖崩れの崩壊による災害発生の未然防止や崩壊防止対策を進めるとともに災害時には迅速な情報伝達体制を図る必要がある区域で避難情報を実施する。)

土砂災害特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為の許可制、建築物の構造規制等が行われる。)

土砂災害警戒区域
(急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危険が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われる。)

道路冠水注意箇所
(道路や鉄道の下を通るトンネル・バス部など道路が周辺より低く、大雨の時に冠水する可能性がある箇所。)

福祉避難所
(要配慮者など、一般の避難所で共同生活が困難な人が安心して避難生活を送るための施設。避難所と同じく、避難者の状況などにより必要と判断された場合に開設される。)

近隣自治体避難場所等
(近隣自治体が避難場所などとして予定している施設)



土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域の詳細についてはこちらをご覧ください。

浸水深の目安



水の深さ

- 水の深さが 0.5 ～ 3.0m 未満の区域
- 水の深さが 0.5m 未満の区域



1 : 27,000

0 100 200 300 400 500m